

四国の川を考える会 令和4年度助成事業報告書

助成事業名：那賀川源流コンサート開催

主催：那賀川アフターフォーラム 共催：ゆきかう那賀川推進会議
協賛：（一財）日垂ふるさと振興財団 四国の川を考える会
 那賀川工業用水利水者協議会 長安口ダム工区連絡協議会

那賀川アフターフォーラムでは、那賀川流域の住民が音楽を通じて交流を深める源流コンサートを毎年秋に開いています。今年で13回目を迎えることになり、従来は上流の源流近くで開催しておりましたが、今年は、「特別編・水辺のコンサート」と銘打って、11月20日（日）那賀町和食郷道の駅「鷺の里」南側河川敷特設会場で開催しました。

事前の週間天気予報では、小雨模様の予報でしたが、開始時には太陽が顔を出し好天に恵まれ、紅葉した落ち葉が舞う自然のなかでの演奏会となりました。12組約40人の方に出演頂き、約150人の方に演奏を楽しんでいただきました。

最初に主催者の那賀川アフターフォーラムの中村貴志会長、ゆきかう那賀川推進会議の安永一夫事務局長、来賓の那賀町峯田繁廣副町長より挨拶があり、引き続きコンサート演奏の開始になりました。

恒例の小学生の“小さなピアニスト”によるピアノ演奏から始まり、本年度の阿波文化創造賞を受賞した山本貴子さんのバルトーク「ハエの日記から」「豚飼いの踊り」などのピアノ演奏に聞きほれました。大人と子どもの連弾も見事でした。

ギター演奏のOZAKI、四季のしっとりとした弾き語りは秋の風情にピッタリでした。オカリナのアマポーラは音楽が秋の自然のなかにしみこんでいく印象でとても良かったです。グループバンドは那賀町職員バンド、サーティグラスボーイズ、スチールバンドのバンドル、佐那人（ささなびと）の皆さんの賑やかな演奏で会場は大いに盛り上がりました。会場の上空を行き交う太龍寺のロープウェイの乗客からも手を振ってご声援を頂きました。

最後に出演者と観客全員で、童謡「故郷（ふるさと）」の大合唱で幕を閉じました。皆さんの熱のこもった演奏と会場の盛り上がりで予定時間をオーバーしお腹もすきましたが、参加記念品の源流餅をほおぼって空腹を満たしている方もいました。お餅もとても美味しかったです。

一昨年、昨年と新型コロナの感染拡大のなか、やむなく中止しておりましたが、感染防止対策を実施して、3年ぶりの開催でしたが、那賀川のオリジナルキャラクター「りゅうな」も登場して、大いに盛り上げてくれました。

ご出演いただいた皆様、ご来場いただいた皆様、会場設営等御世話になった皆

様、本当にありがとうございます。

(那賀川アフターフォーラム 事務局長 森岡和美記)



出演者全員で記念撮影（向かって左端が、りゅうな）



小さなピアニスト



オカリナ演奏



サーティグラスボーイズ